

平成29年度



白川小だより

第11号 平成30年1月31日(水)

揺るぎない 白川小の表現力

学校長 井戸 さえ子

1月下旬には、大寒に合わせるように厳しい寒波が到来し、各地で大雪の話題が伝えられるとともに、白川でも初めての本格的な積雪でした。白根山の突然の噴火が報じられ、噴石による被害も出て、改めて日本はあらゆる自然災害に見舞われる国であることを感じています。気候の急激な変化は人の体にも影響を与えるのか、インフルエンザ患者は過去最高だそうです。

そんな中での白川小学習発表会。有難いことに酷寒の最中でも欠席者は0。全員で創り上げた発表会となりました。それぞれのご家庭において、健康管理に十分気をつけていただきましたこと、感謝申し上げます。



【学習発表会についてのアンケートより】

～一部を紹介します～

- ・どの学年も「おはこ」ができていました。1年間何に取り組んだのか、どんな勉強をしてきたのか、よく分かりました。どの子も輝いていました。
- ・人数も少なくなっていく中、一人一人の台詞もたくさんで、覚えるのが大変だったと思います。みんなの努力が伝わってきました。
- ・広いホールで、どの学年も堂々と発表していて感動しました。児童の人数が減っていきますが、子どもたちの元気な声は変わらないので、少なくなるのを感じないような気がしました。

楽集館の司書さんから、発表会後に楽集館を訪れた白川小の子が、とても満足そうだったと伺いました。大きな舞台でも精一杯演じられるというのは、これまで白川小が培ってきた揺るぎない表現力です。この行事をやり遂げられたことを節目にして、児童も職員も次のステージに向かいます。発表に向かう心境を6年生の叶羅さんは「平常心」と答えたことが印象的でした。平常心とは「自分を律しよう」とすること。周りに惑わされないで自分に甘くなることに「克つ」。それぞれが新たな目標を立てて最後まで前進したいと願っています。

【お知らせ】

2月28日(水) 1時15分より、校内百人一首大会において、岐阜県かるた協会のご協力を得て「競技かるた」を見せていただきます。保護者や地域の皆様も都合がつけば、ご参観ください。